

## インタビュー

## 「協会発足4年でマーク貼付製品は100万個超に」

## 日本EGF協会・辻大作理事長に聞く

「hEGF」及び「FGF-1(aEGF)」  
「GF-7(KGF)」の3種類のサイトカイン製  
品の普及・啓蒙活動や研究に取り組むNPO法人日  
本EGF協会(大阪市中央区、☎06・6245・  
3259)が、設立され、4年が経過した。現在  
の活動状況などを辻大作理事長に聞いた。

—日本EGF協会は、  
06年に発足しましたが、  
現在の加盟は何社です  
か。

**辻** 発足以降、加盟した  
企業は少しずつ増えまし  
た。現在では商売を製造・  
販売するブランドメー  
カーが25社ほどで、これ  
らの製品を販売してくれ  
る正規取扱店が100  
社以上となっています。  
協会が認定したメーカ  
ーの製品には全て、協会認  
定マークが貼られています。

—これまで100万枚  
以上のマークが各製品に  
貼付されました。

—それだけ認知度が高  
まったということでは  
うか。

**辻** これまで、啓蒙普及  
活動を活発に行ってきた  
こともあり、エステサロ  
ンや化粧品など美容業界  
での認知度は、たいへん  
高くなりました。一般の  
人による認知度も4年の  
間で高まってきたと思っ  
ています。

—発売されているEG  
F関連製品はたくさんあ  
りますが、協会が認定し  
た製品についてはどう差  
別化を図っていますか。

**辻** もっとも重要なのは  
認定基準です。当協会の  
定めるガイドラインで  
は、認定基準としてEG  
Fの濃度ではなく、生物  
活性で規定しています。



なぜ、濃度ではなく、生  
物活性を重視するかとい  
うと、濃度が高くても  
成長因子の生物活性が失  
活している場合が考えら  
れるからです。測定法も  
測定誤差が出やすく、濃  
度を単純に測るELISA  
法ではなく、生物活性  
を測るのに有効なMTT  
法を用いています。

—最近の協会の取り組  
みについては。

**辻** 当協会は研究やセミ  
ナーが主な活動ですが、  
最近の研究では4月にF  
GF-7(KGF)の単  
純塗布によるまつ毛の育  
毛及び発毛試験を開始  
し、良い結果が出ています。  
—今後はどのような活動  
を重視していきますか。

**辻** EGFなどサイトカ  
イン成分に関しては、本  
当に熟知している人が少  
ないため、誤った情報が  
流れないようにしっかりと啓  
蒙していくことです。現  
在、当協会認定、非認定  
を問わず、EGF関連の  
製品が、さまざま見受け  
られます。しかし、メー  
カーによってはEGFを  
よく理解せずに製品を開  
発してしまい、販売・宣  
伝活動を行っているた  
め、間違ったことが宣伝  
されているケースもある  
ようです。少なくとも当  
協会加盟の企業関係者  
エンドユーザー様には正  
しい認識を持ってもらえ  
るように啓蒙活動に努め  
ております。